

【未来に向かう『心』】小郡市教育委員会から保護者の皆様へ

小郡市では、「自律」「共想」「郷生」の3つのキーワードから、子どもたちの『未来に向かい 未来を拓く力』を育てています。今回は、市内全小・中学校で実施した「小郡市生活アンケート」の結果の概要と、今後の取組についてお知らせします。

「小郡市生活アンケート」とは？

「小郡市生活アンケート」とは、以下の内容について、子どもが「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つから選択する調査のことです。

内容

- 「正直、誠実」など、小・中学校で行われている道徳科の学習のねらいに関すること
- 「学校生活が楽しい」などの規範意識に関すること
- 「小郡市が好き」など、小郡市教育施策指標に関すること
- 「学校や家庭で決めたルールを守っている」など、情報モラルに関すること



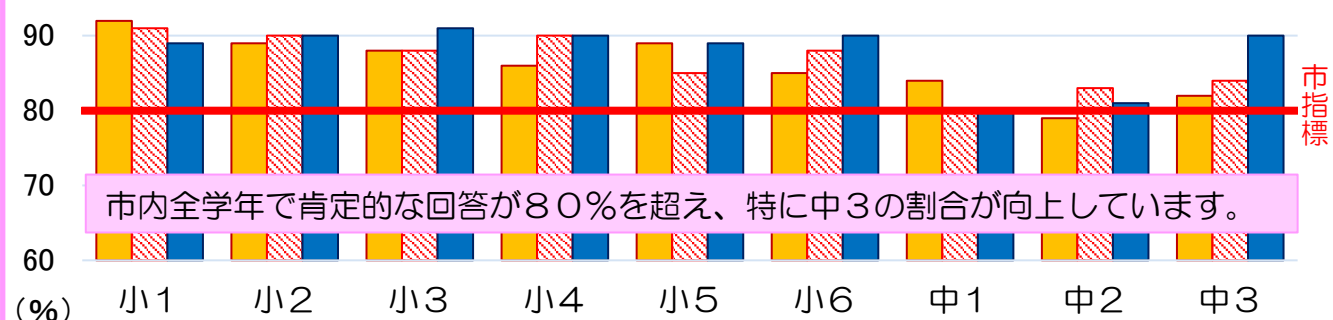
育っています、小郡市の子どもたちの心

夢や希望に向かって粘り強く進もうとする「**自律**」、人とつながりあって心を働かせる「**共想**」、豊かな郷土をつくろうとする「**郷生**」の心が、以下のような項目で伸びています。このことは学校、家庭、地域による、子どもたちのよさを認める肯定的な関わりや、各校区の特徴やよさを生かした「ふるさとカリキュラム」の充実等の成果だと言えます。ご支援をありがとうございます。

自律

質問「自分が行うことは、結果まで考えて行動することができますか」
（「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合）

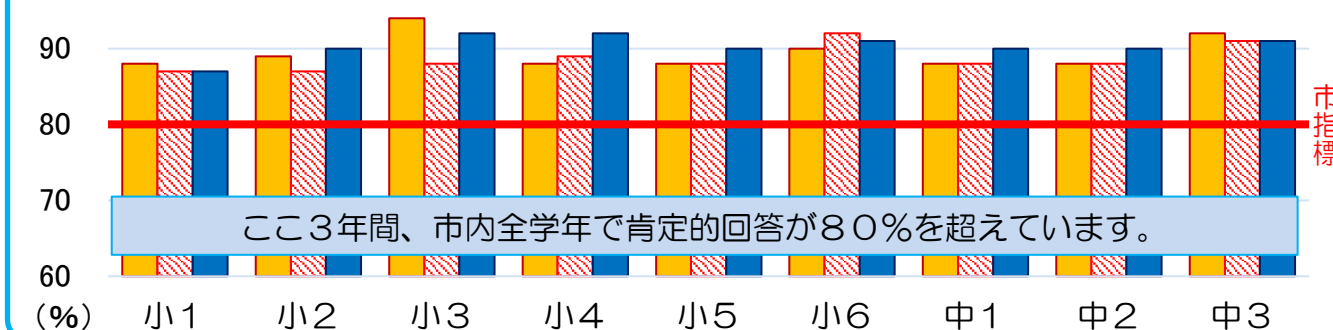
■ R4 ■ R5 ■ R6



共想

質問「あなたのことを分かってくれる友達はいますか」
（「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合）

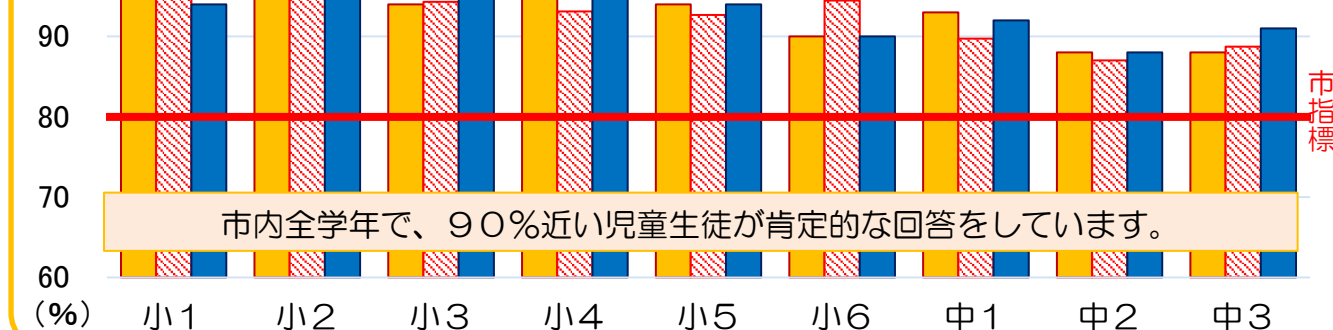
■ R4 ■ R5 ■ R6



郷生

質問「住んでいる小郡市が好きですか」
（「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合）

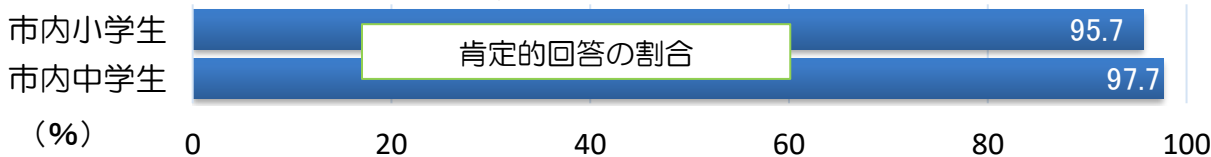
■ R4 ■ R5 ■ R6



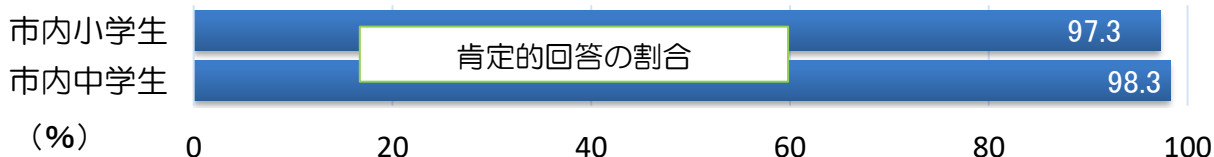
子どもたちがタブレットやスマホ等を使う意識と実態

タブレットやスマホ等の情報通信機器を使う際の「規範意識」や「情報モラル」の面で肯定的な回答が多くみられました。しかし、その一方で、子どもたちを取り巻く環境には心配な面もあります。

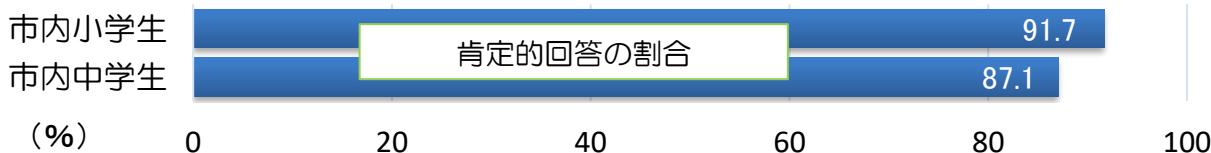
質問「トラブルに巻き込まれて自分が傷つくことのないように使えていますか」



質問「人を傷つけることのないように相手のことを考えて使えていますか」



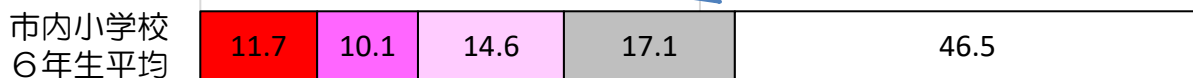
質問「学校や家庭で決めたルールを守れていますか」



質問「1日当たりのスマホ等でのSNS・動画視聴などの時間はどのくらいですか」

(令和6年度全国学力・学習状況調査 小郡市の児童生徒質問紙の結果より)

50%以上の児童が1時間以上視聴



50%以上の生徒が2時間以上視聴



情報機器を使う際の「規範意識」や「情報モラル」は、値としては向上しています。

一方で、小・中学生ともに、スマホ等を使ったSNS・動画視聴の時間が大きく増加してきています。これらの実態を基に、更に適切な使い方を考えさせていく必要があります。

小郡市の子どもたちの「未来に向かう心」をさらに伸ばすために、小郡市・学校・家庭・地域が共通理解のもとで、さらに連携・協働した取組となるようご協力をお願いします。

市の取組

～未来へ向かう「心」を育むために～

- ☆子ども一人一人が目標に向かい繰り返し挑戦する『子どもの主体性を重視した教育』を進めます。
- ☆道徳科の授業づくりに係る研修会を実施します。
- ☆情報モラル教育基底カリキュラムを浸透させます。

学校の取組

～子どものよさや可能性を伸ばすために～

- ☆不安や悩み、相談事に耳を傾け、支える生徒指導を大切に魅力ある学校づくりを進めます。
- ☆子どもの課題意識・アウトプット・振り返りを重視した「子ども主体」の授業改善を進めます。

ご家庭へのお願い

～規範意識の醸成と個性の伸長を図るために～

- ☆子どもに寄り添い、家庭での会話やふれあいを大切にして子どもの頑張りを励まし成長を褒める。
- ☆携帯電話やSNSを使用する際のルールを決めて、子どもと一緒に使用状況を確認合う。

地域へのお願い

～豊かな心を地域でも積極的に育むために～

- ☆祭りや清掃等の地域行事や地域防災訓練等への参加促しと、地域における子どもたちの貢献や活躍ができる場づくり
- ☆日常的な関わりにおける声かけや励まし、称賛